

第4学年1組 国語科学習指導案

平成26年11月19日(水) 第5校時
場 所 4年1組 教室
授業者 角田 明日香
在籍児童数 男子18名 女子17名 計35名

- 1 単元名 物語を読んで、感想文を書こう
教材名 「三つのお願い」

2 本単元の意図

(1) 児童の実態

本学級の児童は、非常に活発で様々なことに意欲的に取り組む。素直さもあり、どんな学習にも一生懸命である。自ら進んで発表したり、自分の考えを文章に表したりすることは苦手な児童もいるが、これまでの学習の積み重ねを通し、少しずつできるようになってきた。

「読むこと」に関しては、読書を好む児童が多く、休み時間やちょっとした空いた時間に進んで本を読んでいる。これまでに学習した「白いぼうし」では、場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ち、情景などについて読み取り、音読劇で面白さを味わった。「一つの花」では、人物の行動や会話に着目して読み、友達との感じ方・考え方の違いを楽しんだ。また「ごんぎつね」では、場面の移り変わりに即して登場人物の行動や気持ち、関係の変化を考え、友達と感想や考えを交流して読みを深めることができた。

本単元でも、登場人物の気持ちの変化、情景などについて、叙述をもとに想像して読み、一人ひとりが感想を持ち、友達との感じ方の違いを味わってほしい。

(2) 育成する言語能力

本単元で育てたい能力は、「C読むこと」の「ウ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。」と「オ 文章を読んで考えたことを発表し合い、一人ひとりの感じ方について違いのあることに気付くこと。」である。そこで、これらの力をつけるために「伝えたいことの内容を明確にしながらか感想を書き、発表し合う。」という言語活動を設定する。

「三つのお願い」のあらすじをとらえ、「書くための種集め」として主人公の性格や似た体験について考えさせ、読みを深めたい。そして、根拠を明確にして自分の考えを示す表現力を身に付けさせたい。

(3) 教材観

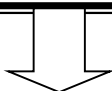
本単元では、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述をもとに想像して読み、感想文を書く活動をする。根拠となる叙述を明らかにして感想を書くことにより、思いつきではなく、物語を読み取る力をつけさせたい。

「三つのお願い」は、ちょっとしたはずみで仲違いをして、友達の大切さや相手との心のつながりに気付く物語である。多くの児童がこうした体験をしていると思われる、主人公の行動や気持ちの

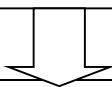
変化に共感しやすい作品であろう。そこで、主人公と自分の性格を比べたり、自分の体験と重ねたりしながら読む楽しさを味わわせたい。

3 研究内容との関連

『自ら課題を見つけ、主体的に学ぶ太陽の子の育成』
～基礎・基本の定着を図り、表現力を高める国語指導の工夫・改善～



目指す児童像
話の中心や相手の意図を理解し、自分の考えをもち、豊かな表現で伝え合うことができる子



視点 1	基礎・基本の定着を図る指導の工夫
手立て①	単元を通して付けたい力の明確化
手立て③	単元の「どこで・どのように」児童に力が付いたのかを見取る評価計画

- ・付けたい力を学習指導要領「C読むこと」ウ、オとし、それに合わせた言語活動を設定する。
- ・指導案の中に評価計画をきちんと明記し、それに合わせて評価、指導の改善を行う。

視点 2	児童一人ひとりが思いや考えをもつための指導法の工夫
手立て①	意欲を高める魅力的なゴールと学習計画の設定
手立て②	モデル学習の効果的な活用
手立て③	児童一人ひとりが自分の生活経験と結び付ける活動の設定

- ・児童とともに学習計画を立て、単元全体の見通しをもち、学習の流れを確認しながら学習を進める。
- ・学習のゴールのモデルを提示し、毎時間そのモデルを意識して学習活動をする。
- ・物語を人物に着目して読み、自分の生活経験を思い出しながら登場人物と自分を比べる活動をする。

視点 3	伝え合う力を付けるための指導方法の工夫
手立て①	目的意識、相手意識をもち、考えを伝え合う活動や機会の充実

- ・感想文をグループで読み合い、よいところを指摘する。
- ・全体でも伝え合い、考え方の相違に気づき、その面白さを感じる。

視点 4	学校生活全体における言語環境の整備
手だて②	読書活動の推進
手立て③	ベース学習、楷の木タイムの時間の活用
手立て④	言語活動の整備

- ・単元の学習に合わせて並行読書を行いやすいように、環境を整える。

- ・ベース学習や楷の木タイムで、言語活動のプリントに取り組み、語彙を増やす。
- ・物語の人物の人となりを表現するのに必要な語彙を掲示し、日々の生活や学習で意識させる。

4 単元の目標

- (1) 自分の体験と重ね合わせながら物語を読み、感想をまとめようとしている。
(国語への関心・意欲・態度)
- (2) 登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述をもとに想像して読むことができる。
(読むこと)
- (3) 読んで考えたことを発表し合い、感じ方の違いに気付くことができる。
(読むこと)
- (4) 感想を書くときに使う言葉を使って、表現することができる。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

5 単元の評価規準

ア 国語への 関心・意欲・態度	イ 読む能力	ウ 言語についての 知識・理解・技能
『自分と同年代の主人公の物語』を、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述をもとに想像して読み、書こうとすることの中心を明確にし、根拠を挙げて感想を書き、発表し合う言語活動」を通した指導 ・学習指導要領との関連 「C読むこと」の言語活動例 ア 物語や詩を読み、感想を述べ合うこと		
① 自分の体験と重ね合わせながら物語を読み、感想をまとめようとしている。	① 会話文から分かる人物の気持ち、行為から分かる人物の気持ち、地の文などから人物の人柄について叙述を基に想像して読んでいる。 ② 物語の中の人物の人柄や気持ちの変化について、自分と比較しながら読み、引用したり要約したりしながら感想を書いている。 ③ 物語を読んだ感想を、どの叙述に基づいているか、自分の経験などとどう関連しているのかを明らかにしながら交流し、一人ひとりの感じ方の違いに気付いている。	① 感想を表すときに使う言葉や表現を増やしている。

6 指導と評価の計画（全9時間扱い）

次	時	主な学習活動	学習内容	学習に即した評価規準と評価方法
第一次	1	<p>○「読書感想文を書く」 ことについて、これまでの学習経験を振り返る。</p> <p>○本単元のねらいと活動について知る。</p>		<p>自分の体験と重ね合わせながら物語を読み、感想文を書くことについて見通しをもっている。</p> <p>アー①（観察・学習感想）</p>
		<p>物語を読んで感想文を書き、「感想文コーナー」で紹介しよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・読書感想文の書き方 	
第二次	2	○「三つのお願い」を通して、場面の設定や物語の展開をとらえる。	<ul style="list-style-type: none"> ・内容（登場人物、時、場所、出来事、結末）の読み取り 	<p>会話文から分かる人物の気持ち、行為から分かる人物の気持ち、地の文などから人物の人柄について叙述を基に想像して読んでいる。</p> <p>イー①（発言・ノート）</p>
	3	○叙述をもとに、想像して読み、感想をもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ・主人公と自分を比較した読み 	<p>会話文から分かる人物の気持ち、行為から分かる人物の気持ち、地の文などから人物の人柄について叙述を基に想像して読んでいる。</p> <p>イー①（発言・ワークシート）</p>
	4	・「自分が主人公だったら」を考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・主人公と対話しながらの読み 	
	5	・「主人公に伝えたいこと」を考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の体験と比較した読み 	<p>物語の中の人物の人柄や気持ちの変化について、自分と比較しながら読み、引用したり要約し</p>
	本時	・自分の経験と照らし合わせ、自分の気持ちの変化を考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・P.56「感想を書くとき、 	

	6	<p>○使う言葉や文章の組み立て、書きだしなどを工夫して感想文を書く。</p> <p>○推敲し、仕上げる。</p> <p>○感想文を交流する。</p>	<p>使ってみたい言葉」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感想文の書き方 ・感想のもち方の違いへの気付き 	<p>たりしながら感想を書いている。</p> <p>イー②（観察・ワークシート）</p> <p>感想を表すときに使う言葉や表現を増やしている。</p> <p>ウー①（感想文）</p> <p>引用したり要約したりしながら感想を書いている。</p> <p>イー③（感想文）</p>
第三次	7 ・ 8 ・ 9	<p>○選んだ本で感想文を書く。</p> <p>○感想文を交流する。</p> <p>*感想文コーナーは、引き続き設置し、継続して活動していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・内容の読み取り ・感想文の作成 ・感想のもち方の違いへの気付き 	<p>物語の中の人物の人柄や気持ちの変化について、自分と比較しながら読み、引用したり要約したりしながら感想を書いている。</p> <p>イー②（感想文）</p> <p>物語を読んだ感想を、どの叙述に基づいているか、自分の経験などとどう関連しているのかを明らかにしながら交流し、一人ひとりの感じ方の違いに気づいている。</p> <p>イー③（観察）</p>

7 本時の学習指導（4／9時）

（1）本時の目標

○登場人物の気持ちの変化や情景などについて、叙述を基に想像して読むことができる。

（読むこと）

(2) 展開

学習活動	学習内容	指導・支援(○)と評価(◇)の創意工夫	時間
1 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;">ノービィに伝えたいことを考えながら読もう。</div>	・学習の進め方の確認	○学習計画表で前時までの活動を振り返り、本時の学習のねらいを明確にする。	2
2 主人公に伝えたいことや、かけた言葉を考えながら全文を読む。	・主人公と対話しながらの読み ・叙述を基にした考え方	○前時までの学習を思い起こし、登場人物の性格を確認させる。 ○ノービィと対話しながら読めるように、吹き出しカードを準備し、書き込ませながら読ませる。 ○とまどっている児童には、前時の学習を想起させ、ノービィに伝えたいことを考えさせる。	13
3 主人公について伝えたいことを交流する。 ・3人組 ・全体	・交流の仕方	○根拠を明らかにして伝えさせる。 ・「ノービィに～と言ってあげたいです。なぜなら～だからです。」 ・「ノービィの～な所は～した方がよいと思いました。なぜなら～だからです。」	10
4 ミニ感想を書く。	・感想の書き方	○書けた児童から「交流コーナー」へ移動し、読み合う。 ○書けた児童数人に発表させる。 ◇登場人物の気持ちの変化や情景などについて、叙述をもとに想像して読むことができる。 <p style="text-align: right;">【観察・ミニ感想】</p>	17
5 本時の振り返りをし、次時の活動について確認する。	・本時の振り返り ・次時の学習内容	○本時の自己評価をして学習感想を書かせる。 ○次時は、自分の経験と照らし合わせ、自分の気持ちの変化について考えながら読むことを伝える。	3

(3) 板書計画

